

古代と民俗の音楽のタベ

～時代と国境を越えた魅惑の調べ～

2013. 4/9 (tue.) 19:30 スタート
アートカフェフレンズ



彩 愛玲



サワン・ジョシ



クリストファー・ハーディ

Harp: 彩 愛玲
Sitar: サワン・ジョシ
Percussion: クリストファー・ハーディ

<彩 愛玲 Ailing Sai>

台湾人祖父は声楽家、日本人祖母はピアニストという環境でピアノを学びながら、14歳でアイリッシュハープ、翌年グランドハープを始める。国立音楽大学在学中はコンピューター音楽に積極的に取り組み、国際コンピューター音楽会議 (ICMC) 北京、スウェーデン、NY州立大学の現代音楽イベント「June in Buffalo」などにソリストとして出演。東京芸術大学別科で更に研鑽を積み、07年 CD「花一輪」(キングレコード) でデビュー。廣済堂 CM 出演。翌年、東京文化会館小ホールでの初リサイタル(東京音協主催) では二胡のチェン・ミン氏を招き大好評を得た。10年銀座ヤマハホールでのリサイタルにてハープのルーツを辿り中東シリアの作品を日本初演。ミニアルバム「Rebirth」リリース。今秋、兄・亮陰氏と「古代から続く波 II」(東京) 開催予定。

<サワン・ジョシ SAWAN JOSHI>

1977年 ネパール、カトマンドゥに生まれる。14歳よりシタール演奏を学び、北インド古典音楽を習得。ハイスクール時代、シタールをフューチャーしたロックバンドを結成。1998年 ネパール全国古典楽器コンクールにて1位。ネパールにてライブ演奏、ラジオ出演などの活動はじまる。2000年 留学生として来日。2002年 Ho-Hi-Yan 国際音楽祭(台湾)、その後、アジア・アコースティック・フェスティバル(台湾)、国際民謡歌謡祭(台湾)、The Raising Sun Rock Festival(北海道)、Fuji Rock Festival などに出演し聴衆を魅了。2003年 インディーズより「Swotantara」リリース。2004年 東京藝術大学音楽研究科に入学し、2010年博士課程修了。その後インド・ネパール音楽についての研究活動の傍ら、古典音楽をベースに様々な音楽との融合を試みた演奏活動を行っている。

<クリストファー・ハーディ Christopher Hardy>

アメリカ出身、ミシガン大学卒業。1989年より日本に在住。西洋打楽器の基礎をバックグラウンドに持ちつつ、中近東、北アフリカ、西アフリカやラテンの代表的打楽器であるハンドドラムのスペシャリストとして高い評価を得ている。これまで渡辺香津美、山下洋輔、林英哲、観世英夫、宮本文昭、尾上松緑、谷川俊太郎、加藤和彦、坂崎幸之助、寺尾聡、中森明菜、本田美奈子、A.I. などと共演し、ジャンルを超えて幅広く活動している。ビクターよりソロ CD・DVD「タッチ」をリリース、月刊ステレオ誌発表により最優秀録音賞第1位となり同時にアメリカ発売。また自身のプロデュースによるワールド・ミュージック・グループ「東京・グルーヴ・アライアンス」を率いての活動を始める。昨年までシルク・ドゥ・ソレイユ「ZED」のミュージシャンとしてステージに参加。

@Artcafe Friends (EBISU)

18:00 Start 19:30

3000yen+1drink order/500yen

【お問い合わせ・ご予約】

フロレスタン Tel .03-6457-4695 <http://www.florestan.co.jp>

恵比寿アートカフェ・フレンズ Tel .03-6382-9050 <http://www.artcafefriends.jp>